

# ～家庭と園の連携で効果UP!～ 気になる子へのかかわり方



久留米市子ども未来部 幼児教育研究所

家庭や園で、子どもにとってわかりやすい環境をつくることや、安心できる大人との関係を築くことは、子どもの健やかな発達を促すことにつながります。また、家庭と園がかかわり方の方向性をそろえれば、効果はさらに高まります。それぞれの実態に合わせた環境やかかわり方がみつかるといいですね!

## かかわり

- 子どもに近づき、名前を呼んで注意を引いてから話をする。
- 子どもに分かる方法で伝える。  
例：言葉と一緒に視覚的な提示をする。  
(実物や絵カード・モデルとなる行動の演示など)
- 言葉かけは「前もって」「短く」「具体的に」。

例：10数えたら交代です。

並んだら、もう一度できます。



- 好ましい行動、増やしたい行動は、「その場で」「具体的に」ほめる。

例：「上手に座れているね。」

「いただきますまで待ててえらいね。」

(他の子のモデルになることがある)

- 苦手なことは無理強いしない。  
(スモールステップで少しずつ)

## 園でチャレンジ!

発達の促進 望ましい行動増加

大人の注意が少なくなる



安全

活動的

予測可能

- 自由に活動できる空間をつくる。
- 子どもが夢中になれる活動を準備する。
- 子どもが分かって動けるような配置する。  
(例)・遊具を種類別に分けて置く
  - 早く終わった人がすることを用意しておく
  - 並ぶ位置に足型を置く



## 環境

## 家庭でチャレンジ!

### 環境

望ましい行動が増加

工夫することで分かりやすくなる  
過ごしやすくなる

物の置き方 道具の使い方

- 種類別におもちゃの入れ物を分ける。
- 一緒に使うものをセットにする。
- 使わない物は視界に入らないところに置く。

## かかわり

- 近くに行って、穏やかに声をかける。
- できていることを具体的にほめる。  
「箱にブロックが全部入ったね。上手に片付けができたね。」
- その子のためだけの時間をつくる。
- 子どもの話を聞く。
- 好きなことを一緒にする。
- 愛情を声に出して伝える。  
「大好きだよ」「うれしいよ」「大事だよ」
- イライラしそうな時、子どもの注意を他に向け、気持ちの切り替えを促し不適切な行動を予防する。
- 反応(注目)しない。  
好ましくない行動に否定的な注目を与えない。
- 事前にルールを確認する。  
「今日はお菓子は買わないよ。」  
⇒守れたらほめる。  
「我慢できてえらかったね。」  
⇒守れなかったらもう一度確認する。  
「今日は買わない約束だったね。」



# 園と家庭の連携のポイント

## お互いの立場の違い、見ている子どもの姿のちがいを知る

「園ではおとなしいけれど家庭では元気いっぱい」など、同じ子どもでも、園での姿と家庭での姿はちがうことがあります。それぞれで見せる子どもの姿を共有していることは、子ども自身にとってもかかわる大人にとっても安心につながります。

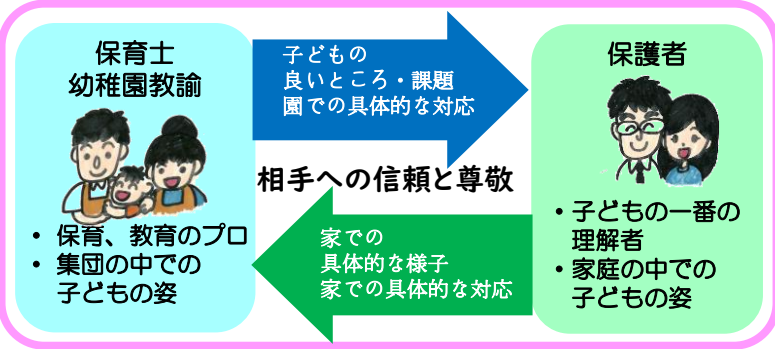


### 子どものより健やかな成長

### 気になることは早めに共有する

「今日の具体的な姿」や「その対応について」を伝え合うなど日常的に情報を共有していると、気になる行動などについても早期に対応することができます。

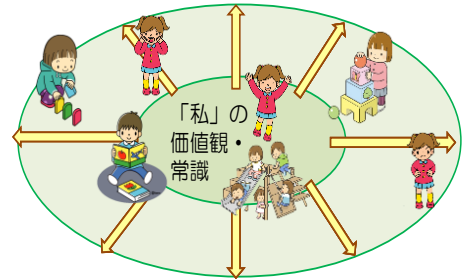
また、うまくいったかかわり方について共有していると、園と家庭での一貫した保育・教育につながります。



## かかわりがうまくいく考え方のポイント

### 子どものタイプを肯定的にとらえる

おっとりした子、活動的な子など子どものタイプはそれぞれ一人一人違います。その子の得意なことや持ち味を見つけることで、「□□できない」から「△△すれば〇〇ができる」のように子どもの見方が変わります。



### うまくいっているときにヒントを探す

子どもが楽しく過ごしているときは、場所や活動、かかわり方など周りの環境がその子にちょうど良いときです。どうすればうまくいくのか、どう伝えればわかるのか、などかかわり方のヒントを見つける良いタイミングです。

### 周りの人に援助を求める

子どもへのかかわりがうまくいかず、悩むこともあります。一人でがんばりすぎず、周りの人に相談したり援助を求めたりすることは、子ども同様大人にとっても大切です。

### 言われて嬉しい言葉を使う

目に見えない「気持ち」は言葉にすることで子どもに伝わります。子どもに対してだけでなく、大人同士でも「言われてうれしい言葉」をかけ合いたいですね。

(例) 「ありがとう。」・「助かったよ。」 (感謝) 「〇〇が得意だね。」 (肯定)  
「がんばったね。」 (承認) 「すごいね。」 (称賛) 「悲しかったね。」 (共感)



### 久留米市子ども未来部 幼児教育研究所

〒 830-0042 久留米市荘島町11-1 (総合幼児センター2階)

電話 35-3812 FAX 35-3886 (HPもあります)

メールアドレス yohken@city.kurume.fukuoka.jp

